

「学校配置の見直しについて」説明会 質疑応答要旨（御幸森小学校）

実施日時：平成 26 年 6 月 5 日（木）15：30～16：40

参加者数：26 人

出席者：（生野区役所）清野区長、竹沢副区長、北邑教育振興担当課長
（教育委員会事務局）川口学校適正配置担当課長
（学校）橋本御幸森小学校長

統廃合の必要性やめざす方向性に関する質問・意見

- 1 学校の特色を高めていけば、児童数の減少に歯止めがかかるのではないか。

（副区長）

学校の魅力が増えて、子どもが集まってくるというのが一番いい形ですが、生野区内の子どもの数が全体的に減っていて、かつてほどの規模になるのは考えにくい状況です。

統合後の学校のことを考える際には、学校の魅力づくりについても時間をかけて話し合っていきたいと考えています。

- 2 小規模校のデメリットを教えてほしい。

（区長）

児童数が少なくて困っている端的な例は、器楽合奏が成り立たないとか、組み体操ができないなど教育活動の幅に制限が生じることです。また、クラス替えもできないので人間関係が固定化してしまう傾向もあると言われています。

- 3 区東側エリアの児童数が多いのは、街や学校に魅力があるからだと思う。

（区長）

区西側エリアは 100 年前くらいからずっと市街地で昔は人口が集中していたが今は減っているという状況です。区東側エリアは千日前線の延伸以降に市街化されたので集合住宅等が建ちやすく、子育て層が安定して住める状況になっているので人口が減りにくい状況になっていると考えられます。

統廃合の進め方に関する質問・意見

- 4 南生野保育所の民営化が決まるまでに説明会等があったが、保護者の意見は聞いてもらえなかった。学校配置の見直しでは、様々な意見を誰がどのようにとりまとめて決めるのか。

（区長）

学校配置の見直しについては区長がご意見をお聞きする窓口ですが、市としての意思決定は教育委員会の議決を経て市会で議決されることによりなされます。南生野保育所は、こども青少年局が

窓口となっており、意思決定は市長が行います。

- 5 特別区が設置された場合などは、今の計画がなくなって一から考え直すことになるのか。

(区長)

現在、各行政区でそれぞれ同じように学校配置の見直しを検討していますが、将来的に大阪市がどのような形の自治体になったとしても、その自治体で特段の合意がされない限りは、現在行政区単位で取り組んでいる施策は尊重されるものと考えています。

- 6 小学校を統合する時に、今の小学校区が分割されることはあるのか。

(副区長)

今回のブロック割では、いったん校区は分割しないで設定していますが、保護者や地域の合意が得られるのであれば分割することも可能です。

統廃合後のあり方に関する質問・意見

- 7 現在集団登下校をしていない学校もあるので、学校が統合されると通学距離が遠くなって安全面が心配である。

(区長)

区内では集団登下校している学校もあります。統合後の通学の安全については、登下校時の見守り等で協力をいただきながら無理のないよう十分に配慮する必要があります。

区の西側では近い所に学校がいくつもあるという状況ですが、区の東側等でかなり長い距離を通学している児童もいます。これについては平成 27 年度から区で設定する指定校変更基準の拡大で対応しますので、学校配置の見直しとは分けて考えていきたいと思います。

- 8 御幸森小学校がどこかの学校に統合されるとすると、現在の進学先中学校である大池中学校には行けなくなるのか。

(区長)

区西側の中学校は小規模な学校が多いので、2小学校から進学してもらうくらいの規模にする必要があると考えています。また、舍利寺小学校に通学する方は9割以上が生野中学校へ進学しますが、一部分かれて大池中学校に進学している実態があります。中学校の配置の見直しは教育委員会から指示を受けている内容ではないので、具体的な内容については今後、保護者をはじめ地域住民のみなさんと十分話し合いをしてから決めていきたいと思います。

その他の質問・意見

- 9 Aブロックが勝山通の南まで長く伸びているのはなぜか。

(副区長)

勝山小学校区が勝山通をはさんで南北に長くなっているためです。勝山小学校は勝山通の南側に

ありますが、進学先中学校が勝山中学校なのでAブロックに設定しています。